



































チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・「創造と挑戦」を経営理念に定め、社員の目につく休憩室に掲示し、朝礼時などを活用し社長から社員に周知徹底している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守については、就業規則に明記し、本社、第二工場に規則集を備え、社長から随時、注意喚起している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・原則として対外的な交渉等は社長が対応しており、常に公正な競争を確保している。また、何かあれば社長に報告が上がるように社員に周知している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・事業活動に伴う騒音等マイナス面等も把握しており、午後5時30分以降は残業しないこととしている。また、工場長、主任等を配置し課題等について組織的に対応できる体制を構築している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・以前、特許を所持していたり、特殊な機械を扱っていることもあり、知的財産の重要性については社長から朝礼や休憩時などに社員に周知している。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報は、経理担当取締役が厳重に管理している。また、個人情報の重要性を認識するため社内研修会の実施に取り組んでいる。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・鋼材や法面資材等の取引業者と週1回は情報交換、情報共有を図るなど双方向のコミュニケーションに取り組んでいる。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・日頃から取引先の活動に関心を持ち、鋼材証明書を常に確認するなど適切な資材購入に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・女性、外国人を雇用しているが、性別、国籍などによる差別や各種ハラスメントがないよう日頃から社長が注意喚起している。仮にそのようなことがあれば取締役が対応している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生責任者教育について社員全員が受講、修了しているが、全て会社で経費負担するなど、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、同一労働に対しては同一賃金等の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業は原則として行わないようにしている。 ・週休二日制を導入すると共に、年次有給休暇についても、年間カレンダーで予め明示し計画的取得に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・会社で人材育成10年計画を策定し、高所作業、溶接、ガス溶接免許等の免許取得を奨励し、経費は会社負担としている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年1回健康診断を義務付け、経費は会社負担としている。 ・週休二日制を導入すると共に、午前10時と午後3時に各15分、昼休みに60分の休憩時間を設け、1日8時間の勤務時間としている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性、外国人が勤務しているが、業務において性別や国籍等に関わりなく活躍できるようにするため、従来、兼用だったトイレに別途女性用トイレを設置した。また、外国人が働きやすいように必要な箇所に母国語表記に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・製造中心の現場であるためテレワークや時差出勤は厳しいが、打ち合わせ等にはウェブ会議を積極的に導入、活用している。また、Lineを有効活用し社員間の情報共有の迅速化に取り組んでいる。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・業務の効率化を図るため、従来、手動操作の機械の使用を改め、オンライン化し事務所に居ながら直接機械を操作、コントロールできるファイバーレーザーの導入等に取り組んでいる。									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●						3	4					8	9			12				

チャレンジ項目記入数

13


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・集塵機を2台導入するとともに、廃棄物については専門業者に委託し適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所、工場の照明をLEDに変更したり、省エネ機械(溶接及び切断機)を導入するなど省エネに取り組んでいる。また、県の簡易計算シートを活用し毎月エネルギーの使用量を把握し、削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・CO2排出量が従来の3分の1になる省エネ機械を導入したり、社用車をガソリン車からハイブリッド車(2台)に、トラックはアドブル(2台)に変更している。また、県の簡易計算シートを活用し温室効果ガスの排出量を把握し、排出抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・ペットボトル使用を改めキーパでの給水や水筒持参を進めるとともに、マイバックを活用するなどプラスチックの排出抑制に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペットボトルの使用を廃止するとともに、再生用紙の利用、裏紙をノート代りに使うことに取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・日頃から社長から節水を呼びかけている。また、汚水が社外に流出しないようU字溝を設置するなど排水処理の配慮に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙を活用するとともに、事業で利用する段ボールについてグリーン購入に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	社員にできるだけ昼食は市販の弁当購入を止め、自宅で食事をとることで少しでも食品ロス削減に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・【予定】2026年4月に新工場設置を予定しているが、敷地内に一定の緑地帯を確保する。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・従来のガス切断機を改めCO2排出量が3分の1になるファイバーレーザーを導入するなど高効率機器導入に取り組んでいる。また、小水力発電所の設置計画を進めている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・ペットボトル利用の廃止、水筒の持参、マイバックの使用、市販の弁当購入から自宅での食事の奨励などプラスチックの削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 有限会社新商実業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

チャレンジ項目記入数13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・安全性と品質を担保するため業務の自動化を進め、最終的には人が数量、品質をチェックし納品するなど製品管理等を厳しく行っており、クレーム等があれば社長が即対応している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・工場内をフラット化するとともに、各種機械を誰もが操作できるよう取扱説明書の整備を行っている。また、写真を有効活用し、文字を大きくするなど誰もがわかりやすい環境整備に取り組んでいる。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・業務で利用する鋼材や段ボール等は地元製品を活用している。また、贈答品等も地域産品を活用するなど地域資源活用に取り組んでいる。							7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・【予定】2026年4月に新工場の事務所の設置を予定しているが、木質化を行う。							7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●										8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本地震や令和2年豪雨災害の際に防災無線300個、防災マット100セット、水を4tトラック2台分を自治体に寄附した。また、自治会の求めに応じてゴミ箱を無償修理したり、地域の中学校に資材の提供に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを確認し、社員に周知するとともに、社内に掲示し防災意識を高めている。また、自家発電機の常備や5年間保存可能なおにぎり等の防災備蓄に取り組んでいる。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・防災備蓄商品である防災おにぎり(5年間保存可)を共同開発し農水省や経産省に納入している。									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsの熊本県登録を機に社員研修を実施し、意識の浸透に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・地域の高校、高専にアプローチし、九州で初めての導入となる「ファイバーレーザー」を校外授業の場として提供している。また、令和4年から毎年地域の高校からインターンシップを受け入れに取り組んでいる。				4					8.6		10.2					17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・工業系の高校に訪問し就職案内や県工業連合会主催の高校説明会で職場の紹介等に取り組んでいる。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

2525

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3